2021年7月発行

intertek news

Vol.73

ISO関連季刊情報誌（年4回発行）

CONTENTS

01 ビルド・バック・ベター

02 03 特集
ISOを活用した四方よし経営（1）
～時代の変化に対応したマネジメントシステム～

04 News&Topics
- 鹿児島県日置市のASIAGAPのお客様 ASIAGAP HIOKI部会設立
- 新セミナー案内：コミュニケーション基礎研修
- テキスタイルエクスチェンジ認証を開始
- Q&A

05 審査の現場から
- お客様紹介（大阪バス株式会社）
- 連載よみもの「審査員の心理」（環境編）「リモート審査」

06 連載よみもの
- 審査員リレーエッセイ「妖怪で町おこし」（審査員　大塚 弘三）
- 環境とISO14001「新型コロナウイルス危機」（その4：改革の担い手は誰か）

07 お客様からのお便り
- 「実験用模型を、ワンストップで製作」（有限会社宇宙模型）
- 「世界に誇れる鋳物工場」（札幌高級鋳物株式会社）

08 研修コースのご案内
- Information：ISO審査員募集のお知らせ
- 研修コース案内
- 受講生からのお便り（株式会社大和環境分析センター）

インターテック・サーティフィケーション株式会社
発行 大阪事務所
◆バックナンバーは、弊社ホームページにてご覧いただけます。
https://ba.intertek-jpn.com/

ビルド・バック・ベター

サステナビリティ アシュアランス　友定（ともさだ） 憲彦（のりひこ）

皆様は、ビルド・バック・ベター（Build Back Better）という言葉をご存じでしょうか？　2015年に仙台で開催された第3回国連防災会議で採択された国連文書である「災害リスク削減のための仙台枠組み 2015-2030」で提唱された、防災の世界での世界標準の言葉だそうです。日本語訳では「より良い復興」という意味で使われています。2019年末より続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全世界で新たなビルド・バック・ベターが求められる中、インターテックでは、「ビルド・バック・エバー・ベター（Build Back Ever Better：今まで以上により良い復興）」を2021年の経営戦略に掲げています。インターテックのATIC（Assurance：保証、Testing：試験、Inspection：検査、Certification：認証）ツールを駆使して、皆様のより良い復興をサポートするという目的を果たす為のメッセージです。

新型コロナウイルスの影響により、「ニューノーマル（新しい常識）」という考え方が生まれ、ワークスタイルやライフスタイルが大きく変化しました。ソーシャルディスタンスを取りながらの働き方や暮らし方、且つ経済活動を持続するという今までの常識では大変困難な生き方を一年半も続けています。では、今後、ワクチンの普及が進み、世界がウイルスの脅威から解放されたとして、社会全体は以前の世の中の常識に戻るのでしょうか？

これからの未来に予測できない非常事態が起きたとしても、持続可能（サステナブル）な社会への取り組みは、政治だけではなく、企業や人々すべての常識となり、経済においても製品・サービスにサステナブルな付加価値が必要な条件となる時代が来ていると感じます。サステナビリティに関する取り組みには、様々な観点からのアプローチがありますが、サステナブルな品質・環境・安全においては、ISO9001、14001、45001活動もサステナビリティへの取り組みの一つとして十分な世界標準的活動になると思っています。

2021年5月1日より、新たに「サステナビリティ アシュアランス」チームが新設されました。Build Back Ever Better（今まで以上により良い復興）の実現の為、インターテックはあらゆる技術、サービスで皆様の持続可能な社会をサポートしていきます。

ISOを活用した四方よし経営(1)

～時代の変化に対応したマネジメントシステム～

角子 裕司

特集

企業の社会的責任(CSR)に関して日本に古くからある「三方よし」の考え方を発展させた「四方よし」の経営スタイルが注目されています。今号では、ISOマネジメントシステムを取り入れたこのスタイルの効果的な活用法、さらには最近経営課題として取りあげる企業も増えているSDGsとの関係性も交えながら、時代の変化に対応させた取組みについて次号にわたってご紹介します。新しいアプローチへのご参照としてお役立ていただければ幸いです。　（編集部）

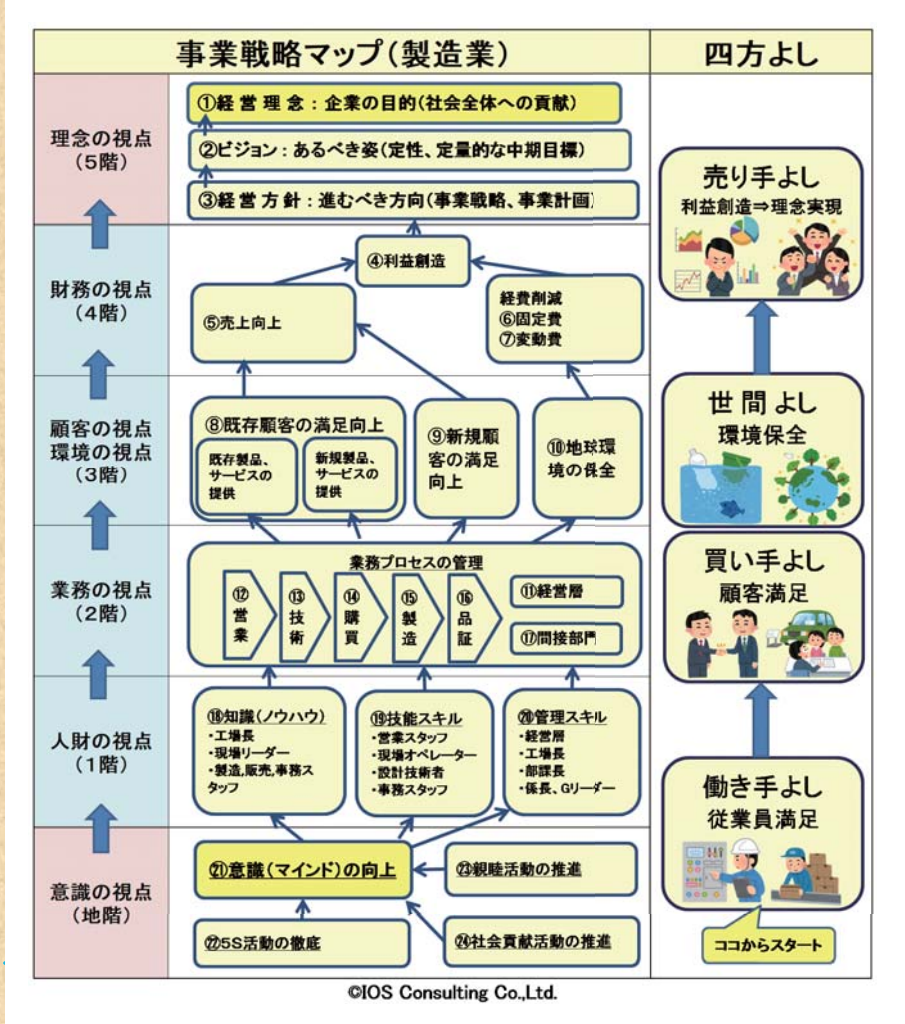
1 四方よしとは

「四方よし」という言葉をご存知でしょうか？　近江商人の商道徳で、中村治兵衛宗岸が残した「売り手よし、買い手よし、世間よし」を表す「三方よし」を基に、新しい軸を加えた、「四方よし」の経営スタイルが今注目されています。この新しい軸とは「CSR(Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任)」と「CSV(Creating Shared Value：共通価値の創造)」に基づくもので、「未来」、「働き手」、「社会貢献」など、各企業がいろいろな定義を掲げています。そのような中、仙台市では、中小企業の活性化に向け、新しい軸に「働き手」を加えた「仙台四方よし」という経営スタイルの普及啓発活動に取り組み、戦略的な取組企業への表彰制度もホームページで紹介されています。今回、この「四方よし」を取り入れた「四方よし経営」を、ISOの「品質、環境、労働安全衛生マネジメントシステム」を活用して、効果的に取り組むポイントを解説いたします。

2 四方よし経営と事業戦略

最初に、経営活動の事業戦略を「見える化」するツールである「事業戦略マップ」に、今回のテーマである「四方よし」を当てはめると下図のようになります。戦略マップの下層階に当てはまる「働き手よし」から始まり、中層階の「買い手よし」、「世間よし」を達成した後、最後に上層階の「売り手よし」が達成される流れとなります。

そして、「売り手よし」の利益創造の後には、経営活動の最終目的である「経営理念の実現」へと繋がる関係が成立します。



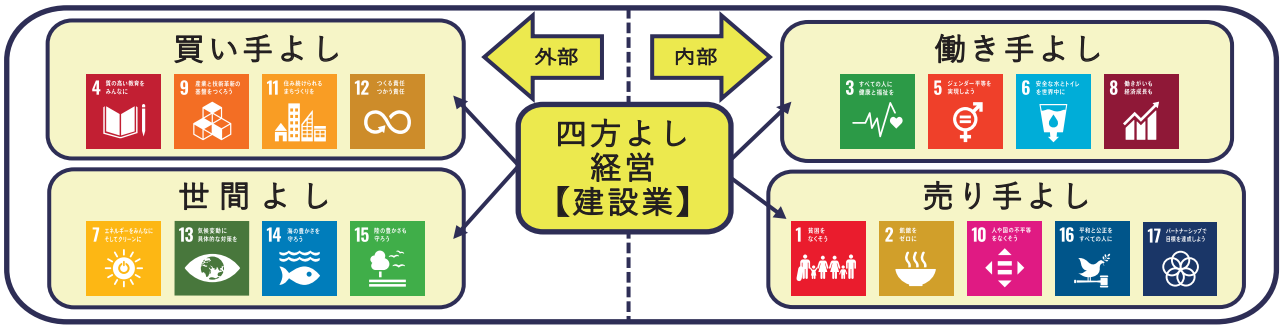
3 四方よし経営とSDGs

次に「四方よし経営」と近年注目されている「SDGs」の関係について解説いたします。SDGsで設定された17の目標は、下図のように「四方よし」と直接又は間接的に関連する社会課題といえます。つまり、企業が「四方よし経営」を実践することで、自社の事業・活動に紐付けられたSDGsの目標と具体的なターゲットに取り組むこととなり、持続可能な社会の実現に貢献することが出来ます。

筆者紹介

角子 裕司（かくし ゆうじ）

鉄鋼関連機関にて環境分野に関する調査・分析・品質管理業務等に従事。独立後、各種マネジメントシステムの構築および運用支援サービスを提供、実績多数。現在、中小規模製造業の経営体質強化支援を中心に活動。兵庫県在住。



【参照】SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）17の目標

17の目標					
3	すべての人に健康と福祉を	1	貧困をなくそう	2	飢餓をゼロに
6	安全な水とトイレを世界中に	4	質の高い教育をみんなに	5	ジェンダー平等を実現しよう
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8	働きがいも経済成長も
12	つくる責任つかう責任	10	人や国の不平等をなくそう	11	住み続けられるまちづくりを
15	陸の豊かさも守ろう	13	気候変動に具体的な対策を	14	海の豊かさを守ろう
		16	平和と公正をすべての人に	17	パートナーシップで目標を達成しよう

4 四方よし経営とISO

この「四方よし」の取組みを精神論ではなく、企業で具体的に実践するには、ISOの品質・環境・労働安全衛生マネジメントシステムの仕組みを活用することが有効であり、次の経営効果が期待されます。

尚、次回はISOを活用した「四方よし経営」の利点や取組みのポイントについて解説いたします。

四方よし	有効な仕組み（ツール）	システム運用による経営効果
働き手よし	ISO 45001:2018 労働安全衛生マネジメントシステム	労働災害リスクの低減、安全意識の向上
買い手よし	ISO 9001:2015 品質マネジメントシステム	QCDレベルの向上による顧客満足、新規顧客獲得
世 間 よし	ISO 14001:2015 環境マネジメントシステム	環境負荷・汚染リスクの低減、コストの削減
売り手よし	財務を中心とした事業戦略 事業戦略計画書（BSC）	事業戦略による利益目標の達成、経営理念の実現

鹿児島県日置市のASIAGAPのお客様 ASIAGAP HIOKI部会設立

弊社でASIAGAPを認証取得されている鹿児島県日置市の16の茶工場のお客様が、国内向けや輸出用のお茶の生産、販売強化を目的に、ASIAGAP HIOKI部会を設立されました。

GAP(Good Agricultural Practice:農業生産工程管理)は、農場管理の基準で、食の安全や環境保全、労働安全に取り組む農場に与えられる認証で、ASIAGAPは日本発祥のJGAPが発展したものです。HIOKI部会では、産地全体でASIAGAPを取得され、品質・量・規格・安全性などを満たす製品(茶)を地域全体で一つのロットとして、戦略的に生産、販売するという取組みを目指されており、全国的にも珍しい事例になります。今後は、国内販売だけにとどまらず、台湾、米国をはじめとした海外への販路拡大も視野に入れられており、今後の活動が期待されます。(参照:鹿児島県HP/鹿児島地域振興局だより令和3年3月号)

ASIAGAP HIOKI部会 設立総会(2021年2月26日)

【ASIAGAP HIOKI部会 メンバー茶工場】
有限会社伊集院製茶、池田秀徳製茶、有限会社池田製茶、牧迫製茶、末永㊖製茶、稲田製茶、窪田製茶、世献榎園製茶有限会社、西山製茶、前鶴製茶、株式会社宮下製茶、株式会社春日園川路製茶、有限会社船迫製茶、さつま日置農協飯牟礼FA工場、有限会社東製茶、新村製茶株式会社

新セミナー案内:コミュニケーション基礎研修

弊社ではISO規格以外のセミナーも開催しており、明日から使える「伝える・伝わる」技術の習得を目的とした「コミュニケーション基礎研修」を、オンラインにて新たにスタートしました。

本セミナーでは、仕事における効果的コミュニケーションとその取り方について、通常業務の中で想定される課題を講師や他の受講生と共有し、個人・グループワークを通して「伝える・伝わる」技術を学びます。社内でのコミュニケーションに課題を感じている方、今より円滑に周囲とのコミュニケーションを進めたい方などに最適のセミナーです。4月の初回開催時にはご好評をいただき、次回以降の開催も予定しております。ご興味がございましたら、弊社ホームページをご参照いただくか、弊社東京事務所研修部(03-3669-7435)までお気軽にお問い合わせください。

テキスタイルエクスチェンジ認証を開始

地球環境や動物福祉などに配慮した国際規格、テキスタイルエクスチェンジ認証を開始しました。テキスタイルエクスチェンジ認証の目的は、繊維産業の持続可能性を促進し、製品のリサイクル、有機、および/または好ましい材料の使用を奨励し、生産によって引き起こされる問題を軽減/排除することです。テキスタイルエクスチェンジ認証は、水、土壌、空気、および人々の活動に対する繊維産業の影響を軽減するために、農場、材料から製品までのサプライチェーンを通してライフサイクル全体についてプラクティスを特定します。SDGs達成にも貢献できることから今後の普及が期待されています。

弊社での取り扱いは、グローバル リサイクルド スタンダード(GRS)、リサイクルド クレーム スタンダード(RCS)、コンテント クレーム スタンダード(CCS)、オーガニック コンテント スタンダード(OCS)になります。認証詳細、他の各認証については、弊社サステナビリティ アシュアランス部(Email:info.ba-japan@intertek.com)までお気軽にお問合せください。

Q&A

今回も前号に続き、リモート審査に関するご質問についてご紹介いたします。

Q1. リモート審査はどの会社でも受けることができますか?

A1. 必要な通信環境などご準備いただければ受審は可能ですが、一部規格や審査内容によってはご希望に沿えない場合があります。以下のケースを含め、訪問審査が必要となる可能性がございますので、ご了承ください。
・現在の認証範囲からの変更(認証範囲変更、サイト拡張等)
・前回の再認証審査までの各審査にて軽微な不適合5件以上(重大な不適合2件以上)
他にも様々なケースがございますので、弊社認証部までお問い合わせください。

Q2. リモート審査を希望する場合は、アンケート用紙を提出するように言われましたが、どういう内容ですか?

A2. アンケートは、審査対象サイトの通信環境や状況など、リモート審査実施に必要な確認事項となります。記入例も合わせて弊社ホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。

Q3. リモート審査になった場合、審査日数・費用は変わりますか?

A3. 原則として、通常審査と変わりません。

Q4. リモート審査の場合、審査はすべてリモートとなるのでしょうか?一部のみリモート審査となることはありますか?

A4. 会社の規模、業種、リスクなどによって、現地審査が必要な場合、部分的のみリモート審査になる場合があります。弊社認証部までお問い合わせください。

Q5. 再認証審査が約1か月後に予定されているのですが、延期しようか迷っています。初めてでもリモート審査に対応できるでしょうか?

A5. サーベイランス、再認証審査とも、それぞれ受審期限があり、スキップすることはできません。また、延期後さらに状況が悪化する可能性もあります。リモート審査はアンケート用紙にてお客様の状況を確認した上で実施します。弊社では昨年より導入しており、審査員も慣れてきておりますので、お客様の不安も最小限に実施できると思われます。感染症予防の面からもリモート審査のメリットをご考慮いただき、ぜひご検討をお願いできればと思います。

【お問い合わせ】
東京事務所 認証部 Email:cert-scheme.japan@intertek.com

お客様紹介

大阪バス株式会社 様

（ISO9001：2015認証登録）

〔取材者〕 審査員 **美濃 英雄**
Hideo Mino

高速バス車両

大阪バス株式会社様は、グループ全体で、400台を超えるバスを保有される業界のリーディングカンパニーです。北海道から沖縄の各グループ会社により、全国規模にて高速バスと地元定期路線を運行されています。新型コロナウイルス感染症対策として、車内消毒に加え、全車両に除菌イオン発生機を搭載、走行中は新幹線と同レベルの換気、シート・カーテンには抗ウイルス生地を採用するなど快適な車内環境を提供される一方、タクシー会社5社をM&Aされドライバーの雇用の維持にも努められています。

「お客様おひとり、おひとりの大切な命をお預かりさせていただく」という安全性を、仕事を行う上で最重要課題に定められており、そのために「決して妥協はしない」ということを、当たり前の企業風土にされ、マネジメントシステムに取り組まれています。

先日、同社は、大阪のローカルTV番組の「ライバル企業対決」コーナーに出演されました。番組では、同社と兵庫県最大手の神姫バスより、腕自慢ドライバー各1名が代表参加し、障害物、ブレーキ、駐車の3つの競技にて運転技術を競いましたが、どの競技も神業レベルで、車庫入れなど普段の技術に活かされているようです。審査でも、整然と車庫入れされるドライバーに見とれてしまったくらいです。賞品の「黄金のハンドル」は、事務所に飾られていました。

車内消毒作業

コロナ禍での厳しい状況が続いていますが、同社が目指されている「世界一のサイトシーイングカンパニー」へ向けて、さらなる発展を期待したいと思います。

http://www.osakabus.jp/

連載 よみもの 審査員の心理

第32回（環境編）

「リモート審査」

環境主任審査員 **大村 敏夫**
Toshio Omura

今回は、コロナウイルスの感染拡大という状況下での審査について雑感を述べさせていただきます。このコロナ禍で、組織の働き方を見直さなければならない課題は多々生じているかと思いますが、審査への対応もその一つでしょう。

審査の実施にあたって、他の地域から審査員が訪問することに不安を感じられているお客様もありました。審査員としては、感染しない、万が一感染していたとしても感染を拡大させないことを心がけ、毎日の体調確認、審査中はマスク着用を徹底しています。PCR検査を受けたこともありますが、検査で陰性であっても、その後に感染する可能性はあり、気を緩めるわけにはいきません。日常生活の中でも、三密を避け、黙食の励行など感染予防に心がけています。これは審査員としてということでは無く、コロナ禍に直面した人々に共通する留意事項でしょう。

審査に関しては、リモート審査をご希望される組織もありますが、リモート審査が可能な条件があり、希望すれば無条件でリモート審査に変更できるものではありません。事務所にご相談下さい。リモート審査が可能な場合でも、リモート審査特有の課題があります。先ずは、通信手段などのハードウエアが整備されているかということで、会議室などとの接続はできても、現場視察で移動しながら、途切れること無く画像を送ることができるかが審査では重要となります。ハード面で整備されていても、使用するリモート会議システムに組織側の関係者と審査員の双方が習熟していることも必要になります。特に、関連する資料の閲覧ができることが必要で、資料をカメラで写されても読み取れないこともありました。電子的文書類なら画面共有機能で表示する方法もありますが、小さい画面で読み難い、審査員が表示画面を操作できない、というもどかしさを感じることもありました。リモート審査を実施するにあたっては、事前にテストを実施するようにしています。テストの結果、問題が検出されたら対策を講じて再度テストを繰り返すことになります。リモート審査では、審査を受ける組織側で準備いただくことが多く、ご協力をお願いしています。

審査員リレーエッセイ ㉑

From
兵庫県神崎郡福崎町
大塚 弘三
（おおつか こうぞう）

Profile
専門分野：ISO9001－農業、電子、電気、機械・機器、卸売り・小売
経　　歴：株式会社東芝 半導体事業部、インターテック審査員（現職）

審査員からのエッセイをお楽しみください。

「妖怪で町おこし」

私の住んでいる福崎町は、民族学者・柳田國男が生まれ育った町です。著書に登場する「妖怪」をモチーフにして町おこしをしています。役場の職員のアイディアで町の特産館「もちむぎのやかた」近くの池に「妖怪の河童」を作成し潜らせてみたところ見学者の反応が大きかったので町が妖怪造りに力を入れ、福崎駅前に高さ2m、直径1m程度の円筒形アクリルの水槽を設置し地下から15分ごとに河童が飛び出てきて人々を驚かせています。また福崎町には「天狗」等17種類の妖怪が各所に置かれています。妖怪めぐりスタンプラリーもできます。全国妖怪造形コンテストも行われ妖怪の聖地として脚光を浴びています。著書からヒントを得たアイディアが町おこしへと繋がっています。審査においても少しの気づきに注意を払い真剣に審査を行うことがお客様の継続的改善に通じるものと思っています。

連載「環境とISO14001」㉑

「新型コロナウイルス危機」（その4：改革の担い手は誰か）

環境主任審査員　郷古 宣昭 Nobuaki Goko

ウイルス感染拡大は社会的、経済的に不利な境遇にある人々に苛酷な犠牲を強いることが世界共通の課題として明確になりました。日本では職を失ってホームレスになる非正規労働者やアルバイト収入を絶たれて学業を諦める学生の惨状が報道されています。これらはいずれも感染拡大以前から内在する格差社会の歪みが露呈したものですが、各国で発生した街頭デモにはそれぞれの国情が反映しながらも共通の行動理念があるように思われます。

■ 米国の人種差別撤廃運動

2020年全米に広がった黒人差別撤廃運動(BLM運動)の中核はZ世代と称される15～25才の若者であり、バイデン新政権を誕生させた主役であると言ってもよいでしょう。米国のZ世代の半数は非白人の親を持ち、人種・国籍の多様性を是認し、既成概念に捉われず、「自分らしくありたい」と思っています。彼らは気候変動や人権問題、健康食品に関心を持ち、容赦なく企業及びその商品を評価します。米国の人口の3分の1を占めるため米国社会、とりわけ企業の行動や商品に対する影響は大きいと言われています。

バイデン政権は今回の感染拡大で露呈した差別や格差の修復・改善策を打ちだしていますが、その成否はZ世代の行動にかかっていると思われます。

■ フランスの黄色いベスト運動

2018年11月から断続的に行われているフランス政府への抗議活動で、「炭素税の負担が労働者・中間層に偏っている」ことが発端となって、様々な格差是正を求めて広がりました。抗議デモは一時暴徒化したものの、マクロン大統領から「低所得者層への手当増額」「最低賃金の引き上げ」「社会保障税の増税廃止」を勝ち取り、異常気象問題については無作為に選ばれた150人の市民代表による149件の政策提案が行われ、順次法制化が進んでいます。

フランスでは街頭抗議デモ等の直接行動による「異議申し立て」は立派な民主主義の権利であることが定着していて、2019年度のエネルギー管理庁による市民意識調査では73％が地球環境の救済を緊急課題と捉えていて、80％が未包装商品の購入や持参した容器へのバルク購入、オーガニック野菜の購入等の環境負荷低減活動を日常的に実施していることが報告されています。

Z世代による情報発信が抗議デモへの動員や市民代表による政策提言をもたらし、日常の買い物行動においても情報発信が活躍していると言われています。

■ ミャンマーのクーデターに対する抵抗運動

2020年11月の総選挙で国民民主連盟(NLD)が圧勝したことに対する国軍の焦りから2021年2月にミャンマー国軍によるクーデターが勃発し、2015年以来民主化運動を指導してきたアウンサンスーチー国家顧問とNLD幹部100人以上が拘束されました。これに対し、Z世代の若者が「民主主義擁護」の観点から立ち上がり、これに公務員が加わって不服従運動を展開しました。しかし、警察と国軍が凄惨な弾圧に乗り出し、5月31日時点で840人の死者が出る事態に至りました。若者達は軍による弾圧の動画を世界に向けて発信する等、抵抗を続けていますが、深刻な状況は続いています。

■ パンデミック後をけん引するZ世代

Z世代は生まれた時からスマートフォン、高速インターネット、ゲーム機器が当たり前に存在した「デジタルネイティブ」であり、SNSを駆使して仲間と繋がり、自らの意志を発信しています。情報は瞬く間に広がり、格差是正や気候正義に照らして評価され、パンデミック後の社会変革への大きな力となります。その担い手は紛れもなくZ世代の若者なのです。

次回は新型コロナ感染以後の環境マネジメントシステム運用について述べる予定です。

No.01 Letter

実験用模型を、ワンストップで製作

有限会社宇宙模型（ISO9001:2015認証登録）

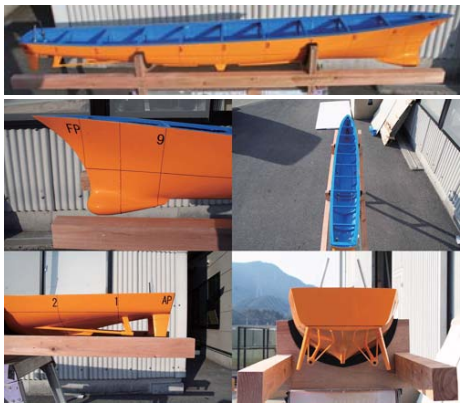
品質管理部長　小川 拓実

社内で会議を重ねるエンジニア

有限会社宇宙模型は、1972年長崎市でホビーショップとして開業（現在は西彼杵郡時津町に本社・工場を移転）。実験用船体模型の依頼を受けたのをきっかけに工業用模型の製作を開始。その後、船舶関係の展示用、実験・研究開発用模型の製作を行う。

模型製作は、職人がすべて手作業で時間をかけて製作しており、職人の高齢化や技術の継承不足が課題となっていた。その明暗を分けたのが現社長（二代目）による3DCAD、3次元加工機の導入だった。これにより、若者でも、パソコン操作ができて、手先が器用でものづくりの勘がある人であれば、職人よりも精度の良い模型を製作できるスキルを短期間で習得できるようになった。

このような取り組みにより、船舶関係の実験用模型業界ではシェア率トップとなったが、さらに他との差別化を図り、トップを不動のものとするために2016年にISO9001を認証取得。現在、さらなる飛躍を目指し、FRP製品の開発・生産に注力している。


水槽実験用模型船（上：全体、下：各パーツアップ）

▶ https://www.uchu-mokei.com/

No.02 Letter

世界に誇れる鋳物工場

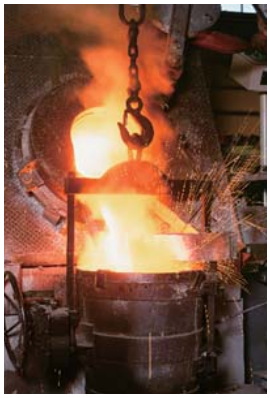
札幌高級鋳物株式会社（ISO9001:2015認証登録）

製造管理部　泉上 和範

本社（北海道札幌市）

弊社は、北海道庁の技師であった初代社長 奥田泰 が「北海道の工業開発に役立ち優れた鋳物を提供しよう」と決意し、昭和24年4月に創業致しました。以来、常にお客様の立場に立って、「品質の高い製品を提供する」という一貫した姿勢をもって取り組んで参りました。現在では、ステンレス鋳鋼、耐熱鋳鋼、そして耐摩耗鋳鋼を主体に、月800種類以上の鋳物製品を、全国の約150社のお客様に供給しています。

2000年にはISO9001を取得し、2002年にはVRH工場を立ち上げました。2015年には、VRH造型設備をアルカリフェノール造型設備へ更新し、更なる製品の高品質化へ向けての体制を整えております。札幌高級鋳物の70年の歴史において、永年の「鋳物づくり」を通じて蓄積してきました技術と新しい時代のニーズを基に、北海道から世界に発信できる鋳物工場になりたいと念願しております。今後も、技術の開発および蓄積につとめ、高品質の鋳物製品づくりに専念し、さらに前進を続けてまいります。


溶解出湯

▶ http://www.sapporo-kokyu.co.jp/

information

＝ISO審査員募集のお知らせ＝

キャリアを活かして、ISO審査員としてインターテック・サーティフィケーションで活躍しませんか？

インターテック・サーティフィケーションでは、ISO審査員を募集しております。セカンドキャリア（※）として、審査員としての活動を視野に入れている方、審査員という仕事にご興味がある方のご応募をお待ちしております。
※弊社で認証取得されているお客様は、ご在職中の応募はできません。稼働形態は業務委託契約となります。予めご了承ください。

【募集要項】ISO 9001／14001／45001　ISO 27001／22000等、他規格も募集しております。

求める人材　製造業全般（特に、化学／ゴム／プラスチック／電気・電子／機械／パルプ／紙／自動車関連／繊維／食品／医療機器等）
建設、医療・介護関連、運輸、印刷、会計・金融、不動産等　※その他業種での応募も可能

必要な資格　IRCA, JRCA, IEMA, 審査員補以上の資格

【ご応募・お問い合わせ】

●ご応募は、弊社ウェブサイトの採用ページからご応募ください。https://ba.intertek-jpn.com/recruit/
●お問い合わせ先　jpn.ba.auditors.off@intertek.com

Information on training courses

研修コースのご案内

開催日程・開催地等、研修に関する詳細は弊社ホームページにてご確認ください。（https://ba.intertek-jpn.com/study/）

審査員養成コース

審査員養成コースは、審査員を目指される方だけでなく、最近では企業様から、品質管理体制の改善や、内部監査員のさらなるスキルアップを目指してご参加いただくことが増えております。業務改善や力量向上を目指している皆様のご参加をお待ちしております。

- ISO9001（5日間）/ISO14001（3日間）/ISO45001（3日間）

※ISO14001/45001の3日間コースは受講要件がございます。
詳細は弊社ホームページにてご確認ください。

開催地　東京（弊社東京事務所）

日　程
- ISO9001・・・10/8（金）～12（火）
- ISO14001・・・12/18（土）～20（月）
- ISO45001・・・12/25（土）～27（月）

コミュニケーション基礎研修/オンライン

～明日から使える「伝える・伝わる」技術～

仕事における効果的コミュニケーションとその取り方について、個人・グループワークを通して学びます。

日　程　7/29（木）、10/25（月）

SDGsセミナー／オンライン

～お客様から“選ばれる”企業になるために！～

SDGs各目標に起因するリスクと機会、ISO14001を活用した対応について解説します。

日　程　9/29（水）、12/22（水）

＊弊社ホームページよりお申込みいただけます。FaxまたはEmailでのお申込みの場合は、ホームページより申込書をダウンロードいただき、必要事項をご記入の上、ご送付ください。

受講生からのお便り

コミュニケーション基礎研修（オンライン）を受講して

コミュニケーション基礎研修（2021年4月 オンライン）受講

株式会社大和環境分析センター
技術部 分析グループ　請田 智子

当社は環境測定・分析業務をしている会社です。「環境に関する技術で社会に貢献する」をコンセプトに環境保全やお客様、地域社会に貢献できるよう努めています。

今回は上司からの勧めがあり、セミナーを受講致しました。私自身、以前から職場でのコミュニケーションに不安を抱えていたため、良い機会となりました。

セミナーはオンラインでの開催で、チャットやブレイクアウトルーム機能を使って進められました。グループワークでは、異なる業種・立場の方々と意見交換をすることができて、非常に勉強になりました。

今回学んだことは日々の業務に活かしていきたいです。職場環境がより良くなるよう微力ながら頑張っていこうと思います。

インターテック・サーティフィケーション株式会社　https://ba.intertek-jpn.com/
東京事務所　〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-4-2 日本橋ノーススクエア　TEL：(03)3669-7408 FAX：(03)3669-7410 E-mail：info.ba-japan@intertek.com
大阪事務所　〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-24 新大阪第一生命ビル5F　TEL：(06)6150-0571 FAX：(06)6150-0575 E-mail：info.ba-osaka@intertek.com